

平成17年度 事業評価書

地域名	群馬県太田市	選定年度	H16年度	事業規模	大規模事業
まちづくり協議会名	太田まほろば事業推進協議会				
モデル事業名	太田まほろば事業				

1. 事業の実施状況

委託事業	H16年度	普及啓発事業として、16年度に建設したスーパーエコハウスに導入された新エネ・省エネ関連技術を紹介するCD-ROM等を制作。
	H17年度	普及啓発事業として、16年度に建設したスーパーエコハウスに係わるボランティアガイドを育成。併せて、事業紹介のパンフレットやホームページを制作。
交付金事業	H16年度	公共施設の消費電力・燃料の削減を図る為、総合健康センター等の公共施設の省エネ改修(高効率空調機導入、照明機器のインバーター化、BEMS導入)を実施。また、公立保育所に給湯用マイクロガスエンジンコージェネレーションシステムを導入。 環境教育の拠点施設として、最新の断熱・地熱・太陽熱利用技術を導入したスーパーエコハウスを建設。
	H17年度	市役所庁舎等の公共施設の省エネ改修(空調機ポンプ、照明機器のインバーター化、BEMS導入等)を実施。また、公立小中学校に給湯用マイクロガスエンジンコージェネレーションシステム等を導入したほか、民間の病院施設に天然ガスボイラーを設置。 モニター公募により一般家庭に対しても、高効率給湯器の導入補助を実施。

2. 評価・分析

①事業の特色・モデル性	<p>交付金事業については、公共施設の省エネ改修を徹底して実施している。交付金事業による施設整備で二酸化炭素排出削減効果は得られているが、その取組の普及という点で取組が不足しており、今後導入設備を活用し、地域住民、事業者理解が得られるよう、普及啓発を行っていく必要がある。</p> <p>また、公共施設省エネ改修事業においては、省エネ改修に係る工事請負契約を締結するに当たり、二酸化炭素排出削減量の目標量を示した上で、プロポーザルを行い事業者を選定し、その削減量を事業者に確約させている。更に、その削減量が得られない部分について削減量の補償を行わせる瑕疵担保契約を締結するという新たな試みがなされており、意義が高い。</p> <p>ただし、導入がほぼ公共施設に止まっており、この公共施設の省エネ改修手法を、今後どう市内の民間施設に広げるのか、明確な仕組みの創出が必要である。</p>		
②環境保全効果 (二酸化炭素排出削減効果等)			備 考
	目標値	262	H16年度事業分
	実績値	417	H16年度整備施設のH17年度稼働実績
(目標値・実績値単位:t-CO ₂ /年)			
③経済活性化効果	<p>各施設で光熱費が削減され、その直接的効果は得られているが、事業の効果としては当該事業の維持管理等に係る支出も算出し、収支を把握した上で評価する必要がある。</p> <p>この事業を地域経済活性化に生かすような広がりのある活用を期待する。</p>		
④その他	<p>非常に効率的な事業展開であったと思うが、住民への意識付けや、住民の環境保全意識の向上にはあまり効果的であったとは言えない。スーパーエコハウスを「エコライフ体験施設」として宿泊体験をしたり、全児童が必ず見学するよう活用するなど、普及啓発に活用する明確な仕組み作りが必要である。</p> <p>二酸化炭素削減という意味では非常に効果があり評価できるので、今後普及啓発など市民の認知度の向上や地域への広がりを期待したい。</p>		